

起因物（小）別コードno.352 電力設備労働災害発生状況

業種別電力設備労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業																1	1							2
010102 水産食 料品製 造業								1		1		1												3
010103 農業保 存食料 品製造 業			1																					1
010104 パン、 菓子製 造業								2			1	1	2										1	7
010105 酒類製 造業							1			1														2
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業																	1							1
010109 その他 の食料 品製造 業					1						2					2		1	1		1			8
0101 食料品 製造業			1	1			1	3		2	3	2	2		1	3	1	1	1		1	1		24











011109	その他 の非鉄 金属製 造業			1						1	1		1										4		
0111	非鉄金 属製造 業			2						1	1		2										6		
011201	洋食 器・刃 物製造 業			1						1													2		
011202	ねじ等 製造業																								
011203	金属プ レス製 品製造 業			1									1			1							3		
011204	めっき 業					1																	1		
011209	その他 の金属 製品製 造業			1		2		1	1	2	1	3	1	3	1	2		1		1	2	1	1	24	
0112	金属製 品製造 業			3		3		1	1	3	1	3	1	3	2	2		1	1	1	2	1	1	30	
011301	機械 (精密 機械を 除く)			1		5		1	2	2	6	3	6		1		1				2	2	2	2	36









030103																							
地下鉄 建設工 事業																							
030104										1										1		2	
鉄道軌 道建設 工事業																							
030105																							
橋梁建 設工事 業																							
030106			1			1							1				1				1	5	
道路建 設工事 業																							
030107																							
河川土 木工事 業																							
030108																							
砂防工 事業																							
030109										1	1											2	
土地整 理土木 工事業																							
030110																						1	
上下水 道工事 業						1																	
030111																	2					1	3
港湾海 岸工事 業																							
030199																							
その他 の土木 工事業				1		1	2	1			2				1		1					9	

0301 土木工 事業			1		1		3	2	2		1	4	2			1	1	2	1	1	1		2	25
030201 鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業			4		1		3	3	3		2	3	1	2		1	3	1	2		1	1	1	32
030202 木造家 屋建築 工事業			1					1	1					1		1								5
030203 建築設 備工事 業			1		2			1	1		2	2	4	3				2	2		2	2		24
030209 その他 の建築 工事業			2		1			1	6	2	1		1	2	3	1	1	1	1	2	2		3	30
0302 建築工 事業			8		4		3	6	11	2	5	5	6	7	4	2	5	4	5	2	5	3	4	91
030301 電気通 信工事 業			22		7		17	11	17	10	13	10	7	11	15	18	7	8	7	10	8	12	13	223
030302 機械器 具設置 工事業			2		3		2	2	3	4	3	3	1	3	1	5		4	1	2	1		2	42
030309 その他 の建設 業－そ の他			3		1			1	4	3	2	1	2		2	6	2	1	1	3		3	2	37

0303 その他の建設業			27		11		19	14	24	17	18	14	10	14	18	29	9	13	9	15	9	15	17	302
03 建設業			36		16		25	22	37	19	24	23	18	21	22	32	15	19	15	18	15	18	23	418
040101 鉄道・軌道業			1		1		4			1	1			1	1	2	2	2	1	2		1	1	21
040102 水運業																								
040103 航空業																								
0401 鉄道・軌道・水運・航空業			1		1		4			1	1			1	1	2	2	2	1	2		1	1	21
040201 ハイヤー・タクシー業																								
040202 バス業																		1						1
040209 その他の道路旅客運送業																								
0402 道路旅客運送業																		1						1
040301 一般貨物自動車運送業					1		1			1	1			1	1	2						2		10























































その他の 廃棄物処 理業																				
150104 火葬業																				
150105 と畜業																				
150109 その他の 清掃・と 畜業																				
1501 清 掃・と畜 業													1							1
15 清 掃・と畜 業													1							1
160101 官公署																				
1601 官 公署																				
16 官公 署																				
170101 派遣業																				
1701 派 遣業																				
170201 警備業																1				1
170202 情報処理 サービス 業																				
170209 その他	1	1	1					1			1	1	1			3		1	1	12
1702 そ の他の事 業	1	1	1					1			1	1	1			4		1	1	13

17 其 他の事業	1	1	1							1				1	1	1			4		1	1	13	
0 全産業	12	4	10	3	4	2	6	6	5	6	4	2	1	3	3	6	1	2	1	4		1	4	90

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

電力設備を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2012	1	11 ～ 12	予備電源室において、電気設備の点検作業を行っていた被災者は、引込盤内底面に落ちていたネズミの死骸を掃除機を使用して吸い込もうとしたところ、右手が導帯（高圧活線）に触れてしまい感電して死亡した。なお、被災者が触れた引込盤の下部の高圧活線は、絶縁被覆がなされずむき出しの状態で、交流6,600ボルトの電圧がかかっていた。	170209	13	50 ～ 99
2012	11	16 ～ 17	作業員6名で変圧器（重量2.9 t）を配電盤内に設置するため、4機の油圧ジャッキを用いて、四隅をジャッキアップし、変圧器の下の車輪をレールに載せ換えようとした際、変圧器が配電盤の奥側に転倒し、（6名の作業員のうち）2名が被災した。被災者2名のうち1名は変圧器の下敷きとなって死亡し、もう1名は負傷した。	30301	6	10 ～ 29
2012	4	11 ～ 12	製鉄所構内の冷圧中央変電施設内において、変圧器と配電盤を結ぶダクト内の清掃作業を行っていた際、配電盤内の2次側ブスバーに被災者が接触し、感電死した。なお、配電盤内の1次側ブスバーについては停電していたが、2次側は通電（11Kv）されていた。	30301	13	1～ 9
2013	9	11 ～ 12	工場内の電気室で、倒れている被災者が発見された。	10601	13	300 ～
2013	11	16 ～ 17	電気室内の高圧受電設備（キュービクル）移設による高圧ケーブル交換工事に伴い、ケーブル耐圧試験を実施した。試験が終了し、被災者が後片付けをしていたところ、充電中の高圧母線に左手甲が接触し感電した。	170209	13	30 ～ 49
2013	9	9 ～ 10	電気設備の点検を行っていた被災者は、受電所の主VCB（継電器）を切らないまま、二次側にある別のVCBの点検準備を行っていて、充電部分で感電した。尚、目撃者がいないため、具体的に何をしていたか、接触したか電撃により感電したか等詳細は不明。尚、電圧は6600V。感電防止対策なし。	11301	13	300 ～ 499
2014	12	15 ～ 16	電気室にて、被災者の手が高圧真空電磁接触器の充電部に触れ、感電し、死亡した。	30301	13	1～ 9
2014	11	23 ～ 24	駅構内の地下配電室にて、融雪器の劣化状況等を確認する検修作業中、被災者が、融雪器電源を停電した後、一部の電源のみ復電し、高圧ケーブル末端のカバーを取外したところ、加圧部に触れ、感電死した。	30301	13	1～ 9

2014	10	10 ～ 11	ビル内の変電設備の点検中、感電し、死亡した。	150101	13	50 ～ 99
2014	9	6 ～ 7	屋外受電設備の点検中、屋内電気室にて、指示測定を実施した際、設備中扉内でうつぶせに倒れている被災者が発見された。被災者付近の避雷器等に焦げた痕が認められた。	170209	13	30 ～ 49
2014	7	12 ～ 13	動力電源のルート変更工事にて、工場敷地内にある配電盤のブレーカーの端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線を切断しようとしたところ、感電し、死亡した。	30301	13	1～ 9
2014	2	12 ～ 13	通電していないトランスを撤去する作業中、トランスの上方にある充電回路（交流6600ボルト）に接触して感電した。	80409	13	10 ～ 29
2015	7	12 ～ 13	被災者はホテルの洗い場に設置されている自社製品の食洗機を修理するため、一人で配電盤室にて配電盤のカバーを開けて食洗機の開閉器の点検作業をしていたところ、露出していた200Vの充電部分に左肩が接触して感電し、死亡したもの。	80209	13	10 ～ 29
2016	5	12 ～ 13	三相6600Vの受変電設備（キュービクル）の扉が開き、その近くで倒れている被災者が発見された。	30301	13	1～ 9
2016	3	1 ～ 2	鉄塔に登り、電線の交換作業中、全4系統の電線交換作業のうち、停電中の2系統の作業を終え、次に停電する予定の系統の作業区域へ移動したところ、通電（2万V）部分に触れ感電し、死亡した。	30301	13	10 ～ 29
2017	12	8 ～ 9	変電所敷地内の変圧器室にある変圧器の上部に取り付けられたコンサベータ（絶縁油の酸化防止設備）の取替工事において、コンサベータの取替工程が完了したため、室内壁面から一時的に取り外していた吸音材を再び取り付ける業務に従事していた被災者が、変圧器の充電電路部（6.6kV）に体の一部が触れた（又は近づいた）ため感電し、死亡した。	30301	13	30 ～ 49
2018	10	8 ～ 9	被災者は、受電変電施設内において、ガントリークレーン撤去工事に伴う電気ケーブル切断作業を行った後処理として変電盤の中の電気ケーブルの取り外し作業を行っていたとき、6600Vの母線に被災者の頭部が接触して感電により死亡した。	170209	13	1～ 9
2018	4	10 ～ 11	集合住宅の地下室にある、キュービクル式高圧受電設備の2ヶ月に1回の月次点検作業中（絶縁監視装置があるため、点検は隔月）、高圧受電盤の計器用変圧器の端子に触れ感電死亡したもの（接触箇所は6600Vの箇所）。高圧受電盤の扉を開けると、アクリル板が設置されており、月次点検では目視点検程度の箇所でアクリル板を取り外す必要性がない箇所であるが、アクリル板を外して、上半身を入れた状態で端子に触れてしまった。	170209	13	10 ～ 29
2018	3	10 ～ 11	被災者は、客先工場にて電気設備の月例点検を行っていた。当該工場平屋部の屋上に設置されているキュービクル式高圧受電設備（受電電圧6600V）の内部を点検していたところ、感電し、4.86mの高さから地上に墜落して後日死亡したもの。当該屋上の端部付近には、高さ27cmのパラペットの他には、何もなかった。	170209	13	30 ～ 49
2018	1	0 ～ 1	警備場の警報を本社管制センターが受信。待機所の被災者へ管制センターより指示があり、確認のため1名で庁舎1階電気室へ向かった。その後、庁舎内の被災者と連絡が取れなくなったため、他の待機所より同僚が、現地に到着したところ、焦げた臭いを感じ119番を行った。消防隊員が庁舎内から被災者を救出したが、病院にて死亡が確認された。	170201	13	300 ～ 499

2020	8	<p>10 受変電設備保守点検において、工場内に設置してある受変電設備の機器銘板を確認するため、休止中の受変電設備に</p> <p>～ 入り込んだ。入り込む前に、検電器で検電し、無電圧を確認したが、実際には電圧があり、右腕が充電部に触れて感</p> <p>12 電し、心肺停止となり病院に搬送され治療をしたが死亡した。</p>	170209	13	<p>50</p> <p>～</p> <p>99</p>
------	---	---	--------	----	------------------------------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_02.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html)